

## 集落活動センターに関するアンケート（集計表）

調査期間	平成29年12月13日～平成30年1月17日		
発送数	集落活動センター：41団体	回答数 21団体	回答率 51.2%

(問1) 貴団体が活動を開始した時期期間についてご記入下さい。

活動期間平均 (2.5年)

(問2) 現在、特に力を入れている活動分野を以下から一つ選んでください。どうしても一つに絞れないという場合は、「②その他」に、該当すると思われる領域の番号をご記入下さい。

1 保健、医療又は福祉の増進	2	11 国際協力	0
2 社会教育の推進	0	12 男女共同参画社会の形成の促進	0
3 まちづくりの推進	2	13 こどもの健全育成	0
4 観光の振興	0	14 情報化社会の発展	0
5 中山間地域の振興	11	15 科学技術の振興	0
6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	0	16 経済活動の活性化	2
7 環境の保全	0	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充	0
8 災害救援	0	18 消費者の保護	0
9 地域安全活動	0	19 他の団体の連絡、助言、又は援助	0
10 人権の擁護又は平和の推進	0	20 その他	4

〔 別紙 〕

(問3) 活動開始当初から、特に力を入れている活動領域に変化はありましたか。

ない  ・ ある  ⇒問3の分野で言えば( )番から( )番へ。

(問4) 直近の、年間活動資金の状況を教えてください。おおよその金額で結構です。

年間収入/約( )円 年間支出/約( )円 ➡〔 別紙 〕

(問5) 活動開始当初からみて現在の活動資金の規模は拡大していますか。

拡大した  変化していない  縮小した

(問6) 現在、活動資金の量は十分ですか。

十分  ・ 不十分

(問7) (1) 現在、会費を徴収していますか。

している

していない  ⇒ (2) 過去に、会費を徴収したことがありますか。  
ある  ない

(問8) (1) 現在、寄付金収入はありますか。

ある

ない  ⇒ (2) 過去に、寄付を受けたことがありますか。  
ある  ない

(問9) (1) 現在、独自事業収入はありますか。

ある

ない  ⇒ (2) 過去に、独自事業を行ったことがありますか。  
ある  ない

(問10) (1) 現在、行政からの補助事業や委託事業（指定管理事業を含む）を受けていますか。

受けている

いない  ⇒ (2) 過去に、受けたことがありますか。

ある

ない  ⇒ (3) 申請をしたことがありますか。

ある  ない

(問11) (1) これまでに、十分な活動資金を確保するために何か手だてを講じてきましたか。

講じてこなかった

講じてきた

⇒ (2) どのような手だてを講じましたか。以下の項目から実施した手だてを全て選択してください。

1 寄付金集めに力を入れた。	<input type="text" value="2"/>
2 補助金・助成金・委託金（指定管理事業含む）申請に力を入れた。	<input type="text" value="15"/>
3 独自事業収入の拡大に力を入れた。	<input type="text" value="11"/>
4 会員拡大による会費収入の拡大に力を入れた。	<input type="text" value="1"/>
5 その他	<input type="text" value="0"/>

(3) 現在もその手だてを講じていますか。 いる  いない

(4) (2) の項目①から⑤のうち一番力を入れている手だては何ですか。

1 寄付金集めに力を入れた。	<input type="text" value="0"/>
2 補助金・助成金・委託金（指定管理事業含む）申請に力を入れた。	<input type="text" value="11"/>
3 独自事業収入の拡大に力を入れた。	<input type="text" value="6"/>
4 会員拡大による会費収入の拡大に力を入れた。	<input type="text" value="0"/>
5 その他	<input type="text" value="0"/>

(問12) 問11(2)に答えていただいた方のみお答え下さい。資金集めの努力に効果はありますか（ありましたか）。問11(2)で選択した項目についてのみお答え下さい。

1 寄付金集めに力を入れた。	効果あり <input type="text" value="2"/>	効果なし <input type="text" value="0"/>
2 補助金・助成金・委託金（指定管理事業含む）申請に力を入れた。	効果あり <input type="text" value="14"/>	効果なし <input type="text" value="0"/>
3 独自事業収入の拡大に力を入れた。	効果あり <input type="text" value="8"/>	効果なし <input type="text" value="1"/>
4 会員拡大による会費収入の拡大に力を入れた。	効果あり <input type="text" value="2"/>	効果なし <input type="text" value="0"/>
5 その他	効果あり <input type="text" value="0"/>	効果なし <input type="text" value="0"/>

(問13) 問12で効果があった（ある）理由、又は効果がない理由を教えてください（自由記述）。

[ 別紙 ]

(問14) 現在、あなたが目標としている水準（レベル）で活動を実施するために、

(1) 活動又は事業を企画・リードする中心メンバーの数は十分ですか。	十分 <input type="text" value="6"/>	不十分 <input type="text" value="15"/>
(2) 中心メンバーが企画した活動又は事業を実施する際に動いてくる人（臨時の協力者も含む）の数は十分ですか。	十分 <input type="text" value="5"/>	不十分 <input type="text" value="16"/>
(3) 組織を管理・運営するための事務局体制（事務局員数）は十分ですか。	十分 <input type="text" value="7"/>	不十分 <input type="text" value="13"/>
(4) 活動にアドバイスをくれる専門家の数は十分ですか。	十分 <input type="text" value="10"/>	不十分 <input type="text" value="11"/>
(5) 活動に協力してくれる他のNPOや市民活動団体の数は十分ですか。	十分 <input type="text" value="7"/>	不十分 <input type="text" value="13"/>

(問15) (1) 現在、活動を支援してくれる行政職員はいますか。

いる  ・ いない

(2) そうした行政職員は、活動開始当初から増えましたか。

増えた  変化ない  減った

(問16) (1) 現在、活動をPRする情報発信は十分だと思いますか。

十分  ・ 不十分

(2) 活動をPRする情報発信の主な手段を3つまでお書きください。(自由記述)

[ 別紙 ]

(問17) 貴団体のミッション(活動目的)は、活動参加者全員に十分理解されていると思いますか。

十分理解されている	<input type="text" value="1"/>
ある程度理解されている	<input type="text" value="16"/>
あまり理解されていない	<input type="text" value="1"/>
理解が不十分である	<input type="text" value="3"/>

(問18) 貴団体のミッション(活動目的)や活動内容は、広く社会や地域の人々に理解されていると思いますか。

十分理解されている	<input type="text" value="0"/>
ある程度理解されている	<input type="text" value="16"/>
あまり理解されていない	<input type="text" value="1"/>
理解が不十分である	<input type="text" value="4"/>

(問19) 貴団体におけるあなた(回答者)の立場はどのようなものですか。

1 代表  2 事務局長  1 2 以外

具体的に  
[ 集落支援員、副会長、事務員、行政職員 ]

(問20) (1) 貴団体のこれまでの活動を総合的に評価するとしたら10点満点で何点ですか。

点

(2) (1) の点をつけた理由はどうしてですか。(自由記述)

[ 別紙 ]

(問21) NPO活動を今後発展させるために、何が重要か、ご意見がありましたら教えてください。

[ 別紙 ]

(問2)

現在、特に力を入れている活動分野を以下から一つ選んでください。どうしても一つに絞れないという場合は、「㉔その他」に、該当すると思われる領域の番号をご記入下さい。

㉔ その他

- ・ ジビエの活用。
- ・ 買い物サポート。

(問5)

直近の、年間活動資金の状況を教えてください。

資金規模	年間収入		年間支出	
	団体数	構成比%	団体数	構成比%
10万円未満	0	0.0%	0	0.0%
10万～50万円未満	3	16.7%	5	27.8%
50万～100万円未満	2	11.1%	1	5.6%
100万～300万円未満	6	33.3%	6	33.3%
300万～500万円未満	1	5.6%	2	11.1%
500万～1000万円未満	3	16.7%	1	5.6%
1000万～5000万円未満	2	11.1%	2	11.1%
5000万円以上	1	5.6%	1	5.6%
合計	18	100.0%	18	100.0%

(問13)

問12で効果があった(ある)理由、又は効果がない理由を教えてください(自由記述)。

(効果あり)

- ・ 地域の拠点としての認識が高くなってきている。みんなで支えようという意識が生まれつつある。
- ・ 補助金により施設等を拡大。
- ・ 国道草刈りによる委託金収入。
- ・ 補助金を使って、加工場に調理器具等を購入予定。
- ・ 補助事業の活用と会費収入で独自の取組みができた。
- ・ テラスを作ったことにより顧客の拡充につながった。
- ・ 高知県の「おもてなし水辺創生事業」と「学校支援地域本部事業」で河川と校庭の草刈り等を行い収入拡大につなげた。
- ・ 地元での取組強化。事業収入は、試験的で本格取組は、30年度からである。
- ・ 雇用が増え、地域の経済活動が活発になった。
- ・ 事業を行うことができた。
- ・ 指定管理制度は、行政のアウトソーシング流行りの時代に受け皿として手を挙げて、実績を残したことで、次の指定管理者としての基礎を築くことにつながった。

(効果なし)

- ・ 条例変更があったため。
- ・ 会員拡大については、人数(地区住民)が限られているために効果がなかったと思う。
- ・ 寄附金について、高知県は寄附文化が脆弱であり、期待できない。

(問16)

(2)活動をPRする情報発信の主な手段を3つまでお書きください。(自由記述)

- ・ ネットによる配信、口コミ、マスコミへの働きかけ
- ・ ホームページやチラシ等で行っているが、まだ不十分である。
- ・ 広報誌、フェイスブック、掲示板
- ・ 回覧文書(地域内のみ)
- ・ 広報誌、フェイスブック
- ・ 機関誌、町広報
- ・ インターネット、観光協会のチラシ
- ・ 活動通信とを年4回発行し地区全戸へ配布、地区内掲示版利用、地区の自治会長や会員に依頼してお知らせ等全戸配布
- ・ 文書案内、ホームページ、チラシ
- ・ 放送による周知、チラシ、広報誌
- ・ フェイスブック、広報誌
- ・ SNS、HP、広報誌
- ・ 単発チラシ、フェイスブック、集落活動センター日より
- ・ ブログ、機関誌

(問20)

(2) (1)をつけた理由はどうしてですか。

- ・ 当初計画に対して。
- ・ 高齢化が進み、メンバーの中に後を引き継いでくれる若者がいない。
- ・ まだしっかりとした事業活動として動きがないため。
- ・ ある程度期間も経ち、なんとかやっている。
- ・ いささかイベント等マンネリ化傾向にある。
- ・ 地域に溶け込み、地域のイベントや行事などに参加&主催、共催し活動できているから。反面、忙しくて、広報が不十分。
- ・ 集落活動センターとしては日が浅く、立ち上げまでも内容的に不十分であったかもしれないが、継続して活動できた。
- ・ 施設ができて1年目の活動としては、十分な取組が行われていると思うが、情報発信が弱く全体のものとなっていない。
- ・ 高齢化のためと仕事に慣れていないため。
- ・ 集落活動センター開設初年度で、まずやれる事を一生懸命やっている状況です。活動参加は限定的ですが、皆大変協力的でスムーズに運営できていると思います。
- ・ 当初目標の半分くらいはできたから。
- ・ まだ計画して進行中で実際活動はこれからである。
- ・ 西川花公園に西川人口の30倍のお客様を招くことができた。
- ・ 計画どおり進んでいると思われるから。
- ・ 特産品である自然薯作りに地域住民を巻き込んで取り組んでおり、その他の活動も活発に取り組み、集落活動の拠点となっているから。
- ・ 経済状態は良好だが、以前別団体が行っていたものを引き継いだに過ぎず、今後事業の拡大を行っていかなくてはならないため。
- ・ これまで関わっているメンバーで頑張ってきたが、これからの活動が参加者が増えないと継続が難しいので心配。
- ・ まだまだ努力が必要などころがあるからです。
- ・ 活動可能な人が足りない。現在、活動してくれる人たちに対しては10点満点で活動いただいている。
- ・ NPO設立以降事務局長としてかわり、役員と調整して事業を始め、ミッションをほぼ完遂できかかっている。しかし、さらに発展を望むことから10点中、8点の評価とした。

(問21)

NPO活動を今後発展させるために、何が重要か、ご意見がありましたら教えてください。

- ・メンバーでの話し合いが大事。
- ・人任せでなく、老若男女、共に地域で自分のできることを精一杯頑張り、共助の精神が重要になってくる。
- ・地域の特色を生かした町づくりと将来と一緒に支えていく人づくり活動が重要だと思う。
- ・活動に対して意見、指導は十分得られる状況にあるが、人材の不足はいかんともしがたい。
- ・高知県内で移住に関する制度が市町村によりバラバラで、よく分かりません。全部を市町村に丸投げではなく、県である程度枠組みを作って、統一してはいかがですか。ちなみに安芸市はその制度が、他の市町村よりも遅れている為か、移住者が少ないです。制度の充実が今後の課題ですね。
- ・地域のニーズにあった継続可能な取り組みをする。地域住民の自主性を大切に。活動等を広く(特に地域内)周知してもらおう。公的支援をお願いしたい。
- ・地域に住む皆さんが自分事として考えてもらえ、自分のできる範囲で活動に参加してもらえれば、全体の取組につながり、活動の発展に結びつくと考える。
- ・多くの活動は、高齢者や善意の無償ボランティアによって支えられています。若い人達は仕事・子育てが重要で、夜間や休日でも活動に参加していただくのは難しい状況です。また、一部の人を除いて社会貢献活動意識が高齢者に比べて薄いのではないかと思います。今後発展させるためには、やって楽しい活動環境の醸成、有償ボランティアや学校で社会貢献活動教育取り入れて、長い目での意識導入が必要だと思います。
- ・地域住民の理解。活動に対するある程度の予算。活動内容によるが道具、機械等。
- ・現在の活動の中心が60代、70代であり、若年層の参加が重要である。
- ・人材
- ・社会貢献を行うための資金づくり。補助金に頼らない強い事業、団体を作ること。
- ・地道な地域への周知活動が求められるため、推進計画なども永く続くことが大事だと思います。また、各課によって作られた支援メニューや公的機関・民間の情報などまとまって見られるものがあればありがたいです。支援情報を探すのに業務の多くの時間を取られている感じです。
- ・幼い頃からの教育だと思う。(お互い様の気持ちを教えるとか。)
- ・NPOや任意団体を指導するNPOがあるが、県下に3つ程度では少なすぎる。産振計画のように県下に6カ所はブロック毎にそうした団体を作るべきと考えている。